



新年の ごあいさつ

あけましておめでとうございます。
2013年は、久慈市周辺がNHK朝の連続テレビ小説で取り上げられ、流行語も生まれるなど、岩手県が注目された年でありました。本県への観光客数も、平泉の世界遺産登録などもあって順調に伸びているようです。

産業界に目を向けますと、金ヶ崎町のトヨタ自動車東日本岩手工場が、関東自動車工業時代から20周年を迎える記念の年となりました。県が中核産業と位置づけている自動車関連産業をはじめとして、本県ものづくり産業の一層の躍進が期待される所です。

スポーツ方面では、プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルスが日本一になり、また昨年末にはグルージャ盛岡が本県初のJリーグチームに参入決定するなど、明るい話題が続きました。

震災の影響は本県にまだ色濃く残っていますが、2014年も、希望に満ちた一年だった、と言えるような年にしていきたいものです。

私どもいわて産業振興センターも、より一層努力してまいります。よろしくお祈り申し上げます。



公益財団法人
いわて産業振興センター
理事長 熊田 淳

新春企画 若手経営者に聞く「今年の抱負」

震災復興はもちろん景気回復など「再生」がキーワードの2014年。しかし資材の高騰や4月の消費税引き上げなど、外部環境の厳しさは変わらない。新年を迎え、決意を新たにしている企業トップに本年の展望を伺った。

事業採択と
新事業への道筋。
技術を核に
未来価値の創造を

制御盤はじめ各種プラント制御システムの設計・製作・施工という機電事業を柱に、農業分野に関わる環境事業を展開。地域インフラを支える企業として、特に震災以降は沿岸部での復興事業に携わってきました。

円安による資材高や人材不足など外部環境の厳しさに対抗すべく、市場開拓や商品開発に取り組み続けた2013年。陸前高田市でイチゴ高設栽培システムが農水省の実証事業採択を受けるなど、成果が現れてきたところです。さらに研究機関との連携でエネルギー事業への道筋も見え始めました。目指すのは未来の新しい価値づくり。社員一丸で邁進していきます。

キーワード
「自立と連携」
自主性を基本とした仲間作り。そこから、新しい価値が生まれます。



東日本機電開発株式会社
代表取締役 水戸谷 剛氏
所在地/盛岡市手代森5-19-10
電話/019-675-2277
業種/制御盤などの開発・設計・製作・販売ならびに施工
URL/http://www.kidenkaiatsu.co.jp/

シフトチェンジの
風を捉え、
新分野へも
果敢にチャレンジ

電子部品等の組立と関連する組立設備の設計製作はじめ高精度の組立治具製作と、それに付随する切削加工まで手がけています。先の震災で市内盛町にあった工場は被災したものの直後の5月には再開、現在地に移転後の昨年は、工場増設に伴い新たな加工機械も導入しました。

業界は電子部品メーカーの海外展開などもあり、構造的な厳しさは変わりません。その一方で首都圏から設備投資に伴う設計製作の仕事が増え、僅かながら「シフトチェンジ」の機運も感じられます。当社としても新分野に参入すべく、研修会へも積極的に参加していきます。

キーワード
「挑戦」
設備製作・機械加工の世界は幅広く、異分野の仕事にも取り組んでいきたい。



株式会社理工電気
代表取締役 崎山 淳史氏
所在地/大船渡市赤崎町字諏訪前37-4
電話/0192-27-1681
業種/電子部品組立設備の設計・製造・加工
URL/http://www.best-quality.co.jp/

震災特需は終わり。
「次」を目指して
積極的に
外に出るとき

東北圏内では参入企業の少ない「熱間鍛造」によるボルトの製造・加工が主力事業。切削加工に比べて低コストというメリットに加え、様々な材質や形状のボルトの製造が可能で、セメント工場や製鉄所など大規模工場のプラントに我が社の製品は欠かせない存在となっています。

いわゆる震災特需は2013年春を境に終息し、社長就任2年目の私も為すべきことを探してビジネスマッチングや展示会へ積極参加。接点のなかった関西企業や県内の異業種企業との知遇を得たことは、これからの展開に重要な布石です。本年も積極的に出向き、交流を持つつもりです。

キーワード
「種まき」
様々な業界と交流し、情報を得る。新展開のための準備期間です。



株式会社テツノックス
代表取締役 古川 雄太氏
所在地/釜石市甲子町10-497-1
電話/0193-23-8111
業種/ボルトの製造・加工
URL/http://www.fe-nix.co.jp/pc/

技術メリットを生かし、
沿岸復興のさらなる
加速に貢献を

システム建築工法を採用した工場・倉庫の設計施工を主力とし、公共工事をはじめ大手メーカーの受注にも対応。2013年は引き続き沿岸復興工事を積極的に手がけてきました。

今年の業界は、震災復興とアベノミクス効果で公共土木・民間建築とも受注は拡大したものの、資材高騰や職人不足で採算が悪化。それでも当社はシステム建築工法のお陰で工期を厳守、沿岸の受注先から大変喜ばれました。本年も受注姿勢は変わりませんが、課題は従業員の疲労等への配慮。作業効率向上や人員のローテーション化、IT技術の積極活用化を進め、事業を遂行していきます。

キーワード
「世相に浮かれず、安全第一」
沿岸復興に取り組むためにも、勤務体制の整備充実は欠かせません。



株式会社小原建設
専務 小原 学氏
所在地/北上市村崎野15-312-8
電話/0197-66-3125
業種/特定建設業
URL/http://obara-c.co.jp

岩手生まれの
酒造好適米で、
地元で愛される
酒造りを究める

岩手山麓からの湧水で製造したお酒を地元で味わってほしいと、当社では商品の9割以上を県内出荷。昨年変わらずご愛顧いただき、さらに全国新酒鑑評会で吟醸酒が「金賞」を、東北清酒鑑評会で純米吟醸酒が「優等賞」を受賞することができました。地元へのこだわりが県外でも認められたことは大きな励みです。

本年は「地元へ根ざす」とはどういう事を問う年。既に新しい岩手の酒造好適米「結の香」を使った酒の醸造への挑戦が始まっており、春頃には出荷の予定。山田錦の味わいに迫りながらも、岩手らしい奥ゆかしさのあるお酒になると思います。

キーワード
「原点回帰」
岩手の酒造好適米「結の香」で、岩手の人に愛される酒を作ります。



株式会社わしの尾
常務 工藤 朋氏
所在地/八幡平市大更22-158
電話/0195-76-3211
業種/日本酒の製造・販売
URL/http://www.washinoo.co.jp/